

Mirai研レポート

国際的な教育プログラムを研究する高校

「未来の学校」事業

先進的・先端的な研究開発に取り組む実践校を指定し、長野県高校教育をけん引する新たな学びの場、学びの仕組みを構築する。

5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行うとともに、成果の普及につとめる。

国際的な教育プログラムの長所を生かした

【飯田風越独自のカリキュラムや学びの指導・評価方法を研究開発する】

とともに、学びの成果を活かしながら、

【海外大学進学を実現するためのプログラムと支援体制を構築する】。

国際バカロレア(International Baccalaureate)



国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。

国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）は、1968年、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置された。世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

DP (Diploma Programme)

【3, 340校（国内：38校）】

16-19歳

所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能。原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。

DPのカリキュラム

各グループから1科目ずつ選択し、計6科目を2年間で履修。

6科目のうち、3～4科目を上級レベル（HL,各240時間）その他を標準レベル

（SL,各150時間）として履修。

なお、日本語DPでも、6科目中2科目は、英語等で履修する必要がある。

DP資格の取得には、上記を全て履修し、外部評価（国際バカロレア試験等）及び内部評価を通じて、原則として45点満点中24点以上を取得することが必要。配点は、6科目につき各7点（計42点）、3つの必修要件で計3点。

グループ名	科目例
1 言語と文学(母語)	言語A: 文学、言語A: 言語と文学、文学と演劇 [※]
2 言語習得(外国語)	言語B、初級語学、古典語学
3 個人と社会	ビジネス、経済、地理、グローバル政治、歴史、心理学、環境システム社会 [※] 情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、社会・文化人類学、世界の宗教、
4 理科	生物、化学、物理、デザインテクノロジー、環境システムと社会 [※] コンピュータ科学、スポーツ・運動・健康科学
5 数学	(旧カリキュラム・2020年11月の試験までの実施) 数学スタディーズ、数学SL、数学HL、数学FHL (新カリキュラム・2021年より試験実施) 数学 Analysis(HL)、数学 Analysis(SL) 数学 Application(HL)、数学 Application(SL) * 新カリキュラムは日本語でも指導可能
6 芸術	音楽、美術、演劇、ダンス、フィルム、文学と演劇 [※]

課題論文(EE: Extended Essay)：履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、成果を4,000語(日本語の場合は8,000字)の論文にまとめる。

知の理論(TOK: Theory of Knowledge)：「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。最低100時間の学習。

創造性・活動・奉仕(CAS: Creativity/Activity/Service)：創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬で自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組む。

国際バカロレア：IB(International Baccalaureate)について

動画 QRコード

IBについて説明している動画 (YouTube) のQRコードです。ご覧ください。



実際に国際バカロレアのカリキュラムで大学に入学した生徒のユーチューバーです。ご覧ください。



IBの学習者像と新学習指導要領

IBが育てる10の学習者像

- ・探究する人
- ・知識のある人
- ・考える人
- ・コミュニケーションができる人
- ・信念を持つ人
- ・心を開く人
- ・思いやりのある人
- ・挑戦する人
- ・バランスのとれた人
- ・振り返りができる人



共通している

目指す資質能力が共通しています。そして、IBは何十年も前からこれらを使命としてカリキュラム編成を作成・検証を繰り返しています。そのノウハウを参考に、研究を進めています。

新学習指導要領が目指す資質能力

- ・生きて働く「知識技能」の習得
- ・未来の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」
- ・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

なぜIBについて「研究」するのか

世界が国際バカロレアを推進する意義

- ・グローバル人材育成に有効な手法 (課題発見・解決能力、論理的思考力・コミュニケーション能力など)
- ・国際通用性 (高卒後、海外大学に直接入学する選択肢拡大)
- ・特徴的なカリキュラム、双方向型授業
- ・国内外の優秀人材の獲得
- ・大学の活性化

文部科学省が国際バカロレアを推進・支援

- ・DPの単位を1条校での単位に読み替え可能
- ・教員養成 (特別免許状の授与)
- ・大学入学者選抜におけるIB (DP)スコアの利用
- ・IB推進のためのコンソーシアムを発足
- ・2022年までにIB認定校を200校に増加

風越高校はIBの認定校を目指しているわけではありません。地方の公立高校として「IBのエッセンス」を取り入れ、生徒の資質・能力を育成しようと研究を始めました。

今年度のMirai研の体制

具体的には6つのプロジェクトに分かれます

- ・ F-教科指導・単元計画 (実践)
- ・ F-ルーブリック・観点別評価 (実践)
- ・ F-進路指導・留学指導
- ・ 新学校設定科目「世界の中の日本」
- ・ 新学校設定科目「アカデミックスキル」
- ・ その他

丸山先生
白田先生
岩澤先生
飯田先生
岩澤先生
清水

詳細は次号以降になりますが、全職員に授業実践等で研究に関わっていただくことになるかと思っております。よろしくお願いたします。